

漱石山房

(仮称)「漱石山房」記念館の基本設計がまとまりました

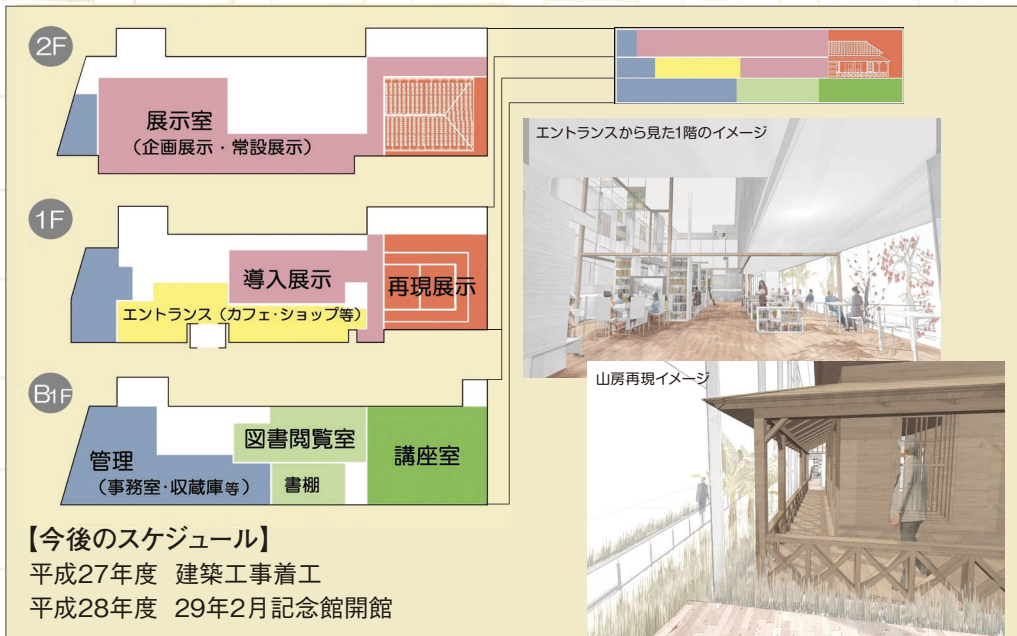
漱石を発信する活気とにぎわいのある記念館に
漱石文学とともに、
ゆったりと時を過ごせる記念館に

【施設の概要】

- 建設地：新宿区早稲田南町7番地
- 延床面積：1,250㎡程度
- 構造：鉄筋コンクリート造、地上2階・地下1階
- 建築設計：フォルムデザインー中央株式会社



記念館イメージ図



【今後のスケジュール】

平成27年度 建築工事着工
平成28年度 29年2月記念館開館

夏目漱石記念館 夏目漱石施設整備便り

ともに創ろう、(仮称)「漱石山房」記念館

第2号

平成27年3月発行

発行元

新宿区地域文化部
文化観光課文化資源係

〒160-8484 東京都新宿区
歌舞伎町一丁目4番1号

電話：(03)5273-4126
FAX：(03)3209-1500

区長挨拶

私はこの度、平成二十六年十一月二十四日をもって新たな区長に選出され、向こう四年間、新宿区政を担わせていただくことになりました。

夏目漱石は、慶応三年(1867年)現在の新宿区喜久井町に生まれ、晩年の九年間を早稲田南町の「漱石山房」で暮らし、数々の名作を世に送り出しました。

新宿区では、この地に、漱石生誕百五十年にあたる平成二十九年二月の開館をめぐり、(仮称)「漱石山房」記念館を整備します。この記念館は、内部に書斎・客間を中心とする「漱石山房」の一部を再現するとともに、誰でも気軽に訪れ、交流できる、活気とにぎわいのある記念館をめざします。現在は、記念館建設に向けて実施設計を進めており、本年十一月頃からは建設工事に着工予定です。

文豪・夏目漱石にとって、初の本格的記念館の整備に向けて、引き続き、皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。



吉住 健一

平成26年度新宿区夏目漱石コンクール

平成26年6月から募集を開始した「新宿区夏目漱石コンクール」の応募総数及び審査結果は次のとおりです。来年度も開催しますので、ぜひご期待ください。

◆読書感想文コンクール

「わたしの漱石、わたしの一行」中学生の部・高校生の部

応募総数 2,175点

中学生 34校 1,799点、高校生 26校 376点

審査結果

中学生…最優秀賞1点、優秀賞(後援企業賞含む)5点、佳作13点
高校生…最優秀賞1点、優秀賞(後援企業賞含む)5点、佳作9点

◆絵画コンクール

「猫になって描いてみよう〜わがはいはネコである〜」

小学生低学年(1・2・3年生)の部、高学年(4・5・6年生)の部

応募総数 981点

小学生低学年 76校 613点、小学生高学年 64校 368点

審査結果

小学生低学年…最優秀賞1点、優秀賞(後援企業賞含む)5点、佳作18点
小学生高学年…最優秀賞1点、優秀賞(後援企業賞含む)5点、佳作19点



絵画・小学生低学年の部 最優秀賞

「カラー マテ!」

松山市立栗井小学校 2年 持谷 麻那さん



絵画・小学生高学年の部 最優秀賞

「手をふられてもなあ…」

新宿区立四谷小学校 5年 相馬 伸明さん

夏目漱石記念施設整備基金への寄付状況

(平成27年2月20日現在)

寄付件数 1,006件
寄付金額 5,644万円



コラム「ちよつと道草」

作家漱石と米山保三郎

漱石が通った第一高等学校には個性あふれる俊才たちが集まった。中でも米山保三郎は作家漱石を語る上で欠かせない存在である。

何故ならば、当初、建築で身を立てようとしていた漱石に「それよりも文学をやれ、文学ならば勉強次第で幾百年幾千年の後に伝える可き大作も出来るぢやないか」と説き、文学を学ぶことを決心させた人物こそがこの米山保三郎だったからである。

米山は結核を患い、二十九歳で夭折したが、『吾輩は猫である』には主人公苦沙弥先生の回想の中に米山をモデルにしたとされる天然居士・曾呂崎という人物が登場しており、ユーモラスな存在として描かれている。